

令和7年度 学校関係者評価委員会 会議録

日時: 令和8年5月7日(木) 時間: 13:00~14:00

出席者: 委員長、委員(実習病院代表)、委員(地域代表)、委員(保護者代表)、委員(同窓会代表)
学校校長、事務長、教務主任、実習調整者、他係長2名

<教育理念>

<自己評価>

<学校評価>

<授業評価>

<カリキュラム進度変更について>

<令和8年度重点目標・教育方針>

<意見・感想等>

・委員

新人教育委員会に参加し、新人教育として卒業生に関わらせて頂いている。このような教育を経て成長していることがわかった。この会に参加し、看護師目線で教育を知ることができた。

・委員

どのように学校で先生方が教育をしておられるのかが分かった。先生との距離が近く、相談しやすいと子どもから聞いており安心している。

・委員

小浜自治会館で月に1回高齢者のサロンに3か月数人ずつ来て、工夫しながら行って下さっている。高齢者の皆様もすごく嬉しそうで喜んでいる。高齢者でも出来るレクリエーションを考えてくれており、高齢者の方々もとても好きで楽しんでいた。高齢者の特徴を理解し、直接触れて関わって下さっている。今年も楽しみにしています。

・委員

宝塚学というカリキュラムがこの学校のカリキュラムの肝かと思っている。市立病院を志望する学生が増えているのはこのような学びを経ているからだと思う。

当院は4月に採用試験をしており、3月、4月に採用試験をする病院が増えている。採用試験に来られる4年生の大学では統合実習を残すのみとなっているので、経験の量が違う為、小論文などで不利になるのではないかと思う。

カリキュラムの中で、看護と経営を無くすとのことだが、経営的な視点も看護師にも必要。起業する看護師も増えてくる。公立病院だから部外視するわけにはいかない。今後、看護マネジメントの授業で経営の視点の内容も組み込んでいけばよいのかなと思っています。

臨床判断、リフレクションについては、当院も臨床判断を取り入れているので、共有していきたいと思った。

現在、クリニカルラダーの整理をしている。教職員の育成について、教育に興味のある看護師、教員になりたい看護師がいるだろうから、いろんなことに自立した職員を育てていかなければならないと思った。

・委員長

教育に携わる先生が一番大切にしないといけないのは、時間的余裕だと思っている。ねばならないことが多すぎると学生に対応できない。学生が突然来た時に対応することが一番大切であり、ゆとりが必要。+アルファすることを頑張りすぎると、ゆとりが持てなくなる。講義で学生に聞くと、「先生方の距離が近く、温かい」との意見が多く聞かれる。この良いところを無くさずに改革して行って頂きたい。

・校長 ご意見を参考にさらなる研鑽に努めていきます。

以上